

# 苫小牧市教育委員会会議録

会 議 区 分	苫小牧市教育委員会 第 1 2 回 定例委員会
日 時	平成22年9月24日 自 15時12分 至 17時17分
場 所	苫小牧市役所第2庁舎2階会議室
出 席 委 員	委 員 長 吉 本 俊 憲 委 員 鈴 木 正 樹 委 員 佐 藤 郁 子 委 員 佐 藤 守 委 員 山 田 眞 久
欠 席 委 員	
会議録署名委員	佐 藤 守 委 員
会議録作成職員	総務企画課総務係主事 近江谷 健
事務局職員	学 校 教 育 部 長 須 藤 孝 生 ス ポ ー ツ 生 涯 学 習 部 長 小 野 寺 徹 示 学 校 教 育 部 次 長 福 田 小 夜 子 ス ポ ー ツ 生 涯 学 習 部 次 長 鹿 野 定 幸 総 務 企 画 課 長 戸 村 真 規 第 1 学 校 給 食 共 同 調 理 場 長 山 崎 政 利 第 2 学 校 給 食 共 同 調 理 場 長 湊 英 夫 総 務 企 画 課 総 務 係 主 査 三 橋 大 輔 総 務 企 画 課 総 務 係 主 事 近 江 谷 健
会 議 案 件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1 委員会開会の宣言（吉本委員長） …15時12分
・私事だが一言だけ時間をいただきたい。平成2年に教育委員を拝命して以来、来月でちょうど20年という歳月を過ごすことになる。このような形で重責を担うこと、また様々な形で様々なことを経験させていただいたことを、皆さんにお礼と感謝を申し上げ、本日の定例会を進めさせていただく。よろしくお願ひしたい。
2 会議録署名委員の指名（佐藤守委員）
3 報 告（教 育 長）
・本日は午前から教育委員によるウトナイ小学校と拓勇小学校の学校視察が行われた。沼ノ端地区は児童数が増え、教育環境の課題も多い地域だ。視察を通して直に感じたことを今後の教育行政に反映していただければと思っている。
・9月は小学校の修学旅行が16校で実施され、いずれも先週で終了している。中学校の方は学校祭の時期で、今月に集中している。加えて、多くの学校ではこれからマラソン大会があるし、授業研究も頻繁に開かれるので、生き生きとした児童生徒の活動が見られる、まさに文化の秋、スポーツの秋、研修の秋へと移ってきている。
・先週金曜日には全道へき地複式教育研究会胆振大会が開催され、本市では樽前小学校が授業公開で成果を発表した。参加した委員のみなさんにはお礼申し上げる。また先般4日の大成小学校開校50周年式典へは委員全員の参加に感謝している。今後さらに、豊川小学校が30周年、和光中学校が50周年の節目を迎えそれぞれ記念式典が予定されているので、こちらにも出席願う。
・先般の第18回定例会の会派代表質問の答弁内容の概要について報告する。
・はじめに学校教育関係について、教育環境整備に関する質問があった。適正配置計画はどのような風に進んでいるのか、市独自の学力調査はどうなっているのか、学校支

援ボランティアはどういう狙いであるのか、ということだった。適正配置については
委員会の中ですでに話しているとおりの、老朽化あるいは耐震化の検討が必要とする際
に学校規模を見ながら改築か統廃合かの方向性を見極めていきたい。現在検討を進め
ている地域があるので、保護者には丁寧に説明していきたいと答えた。また学力調査
については様々な課題があるので、これらを解決するためには市独自で実施していき、
あくまでもひとりひとりにその結果を伝えて学校でもそれを活かしていくということ
で、学力向上につなげていきたいと答えた。学校支援ボランティアについても、現在
は先生方が授業や部活動の合間に行っていて負担が大きいことから、個別指導をして
いくために学力向上と学習習慣の定着、あるいは開かれた学校づくりということで、
外部のボランティアを使って実施していきたいと答えている。
・次に学校のフッ素化物洗口についての質問があった。道教委は3年間かけて実施し
ていきたいと言っているが、現実問題としては学校の体制づくりや導入の際には市独
自の予算が必要であるので、そういう状況の中で考えていきたいと答えている。不登
校の子どもにもボランティアが必要ではないかという質問もあり、先ほど言った学校
支援ボランティアとも連携して、不登校に対する対応が可能であれば今後考えていき
たいと答えている。
・他にもいくつかあったが、特に給食の調理場の民間委託についてもっと保護者に説
明が必要ではないかという意見があったが、これについては様々な機会の説明してき
ているので、我々としては説明責任を果たしていると答えている。また、期限付きの
教員が増えてきているということで、市費独自で採用できないかという要望も兼ねた
質問があったが、たいへんな金額になるのでなかなか踏み切れないという答弁をした。
・社会教育関係では美術館に関する質問が多かった。苫小牧の目指す姿を示し、今年
中に検討するためのワークショップを開催して基本構想を立てていきたいという旨説
明した。美術館と関わって、今後博物館はどうするのかということ、あるいは埋蔵文
化等についてどのように扱っていくのかという関連した質問があったが、博物館は博
物館としての機能を生かしながら美術館との調和を進めていきたい。それから、いろ

<p>           いろな遺跡があるがそれが市民に周知できていないのではないかということについて            も、今後様々な方法で市民と関われるような内容を考えていきたいという答弁をした。            図書館については指定管理者の導入ということで行革プランの中にも入っているが、            導入にあたっては図書館協議会や社会教育委員会での検討を踏まえ、最終的には教育委            員会で判断していくということで、今すぐ決定という訳ではないということをご理解            願いたい。         </p>
<p>           ・文教経済委員会では、以前示した教育委員会の評価についてもっと厳しくしたらど            うかという意見があった。また、様々な部分でいろいろな意見を聞いて慎重に対応し            てほしいという意見もあったので報告する。         </p>
<p>           (吉本委員長) 教育長報告に関連してご質問があればお受けしたい。         </p>
<p>           (一同「なし」の声)         </p>
<p>           4 議案審議         </p>
<p>           議案第1号 苫小牧市学校給食会の適正な業務運営に関する要綱の設定について         </p>
<p>           (学校教育部長)         </p>
<p>           ・現在、給食費の収納及び食材の購入・支払いは苫小牧市学校給食会が行っており、            その方法は私会計方式である。全国的に給食費の未納問題がクローズアップされ、本            市においても6億から7億円の給食費を取り扱い運営しているが、私会計方式で行っ            ているため、市民及び議会に対し公開する術が無く公平性に欠けるとして、度々議会            において公会計に移行するよう指摘を受けていた。市教委では平成23年度より公会            計に移行すべく、他市の状況等を踏まえ検討してきた。だが、公会計への移行につい            ては新たな徴収システムの導入や保護者の給食費の払い込み先の変更等、大規模な仕         </p>

<p>組みを構築しなければならないこと、また、徴収事務や未納対策等の人員配置等、組織体制を整備する必要がある、多額の費用がかかることが予想されることから、本年2月議会において移行は見送ることとした。しかしながら、私会計といえども収支の状況を公表・公開する必要があるとの判断から、別紙の通り要綱を定め、給食会の運用を市教委で明確に位置付けをし、市教委を通じて予算決算を議会に報告することとした。(以降、議案第1号資料に基づき要綱について説明)</p>
<p>・以上、審議の上承認いただきたい。なお、この要綱に基づき平成21年度学校給食会決算を来月開催される決算委員会へ提出する予定になっている。(以降、議案第1号資料に基づき決算書について説明)</p>
<p>(吉本委員長) 本件について質疑があればお受けする。</p>
<p>(佐藤守委員) 苫小牧市学校給食会には規約等があると思うが、その規約と今回制定する要綱との関連はどのようになっているのか。</p>
<p>(第1給食調理場長) 学校給食会にも会則、会計規則はあるが、これは組織の中での規則であり、教育委員会と学校給食会の繋がりを明確にしたものではなかった。学校給食会は、校長とPTAの代表者、そしてその中に教育長や部長が数名入って組織されている。だがその繋がりが曖昧であり、議会からの学校給食会の決算関係を公表すべきとの指摘を受け、議会そして市民に対して公表するため、法改正を断念した代わりに今回要綱を制定することとなった。</p>
<p>(佐藤守委員) 今までは学校給食会の規約や会計決算はあまり表に出ておらず、今後公にすることによって今回要綱を制定したようだが、学校給食会自体はこれまで通りの運営を続けていくことになるのか。</p>
<p>(学校教育部長) 委員が仰ったとおり、今までどおり学校給食会はその会則に則って運営されていく。先ほど質問にあった業務運営については要綱の第2条と同じ考え方で、要綱を制定することによって位置付けをした。</p>

(吉本委員長)	公会計に移行した方が市からの補助は多くなるのか。すぐに公会計へ移行することは難しいようだが、将来的には移行する方向で考えられているのか。今後の展望をお聞かせいただきたい。
(学校教育部長)	公会計で運営しているところ、私会計で運営しているところ、全道的にはまちまちだ。現在は事務局費と人件費、システムの委託料として市からの補助金をもらっている。公会計になると、まず特別会計と企業会計の選択をし、収納体制をどうするだとか、市としてその会計に対する組織作りをしなければならない。公会計への移行の元々の論議は給食会会計に透明性が無いというところから始まったので、私会計の公表を指示するために、要綱で教育委員会との位置付け明確にし、給食会会長を教育長・副会長を私とした。要綱に基づけば透明性を確保できるという考え方である。
(山田教育長)	学校給食事務に関して不透明な部分を明らかにするために検討した結果、公会計に移行するには非常にハードルが高いということで、まず一番の問題である不透明な部分を解決するためには、要綱を作りきちんと報告するというところでまとまったので、今回こういった形で提案をした。
(佐藤郁委員)	要綱の第5条について、一般の閲覧は具体的にどのような方法になるのか。
(第1給食調理場長)	第1学校給食共同調理場のホームページ上に掲載する予定になっている。
(佐藤守委員)	学校給食会の規約もホームページ上で公開してほしい。また、学校給食用の物資の納入業者の選定や指導、食材を選定する業務は給食会の業務に入っていないのか。
(学校教育部長)	会則については、給食会に諮りホームページで公表する方向で検討したい。

(吉本委員長) 業務の選定の部分については後ほどお答えいただく。21年度決算に
ついては0.51%前年度よりも収納率がアップしている。集金業務、
その他様々な努力をした結果ではないかと説明があり、100%は難
しいかもしれないが、鋭意努力し続けてほしい。他に質問等がなけれ
ば、議案第1号について承認してよろしいか。
(一同「異議なし」の声)
—原案どおり承認—
議案第2号 平成22年度苫小牧市文化賞・文化奨励賞の選考について
議案第3号 教育委員会職員の処分について
議案第4号 委員長の選挙について
議案第5号 委員長職務代理者の指定について
(議案第2号から5号については人事案件のため、秘密会とする旨議決する)
5 協 議
協議案件なし
6 その他

(学校教育部長) 先ほど保留になっていた議案第1号の佐藤守委員の質問にお答えして
よろしいか。
(吉本委員長) どうぞ。
(学校教育部長) 学校給食会の業務の中に業者や食材の選定がないのかということだが、
要綱の中に個々の業務については載せていないが、全て第2条の「(7)
前各号に掲げる業務に附帯する業務を行う」という部分に含まれてい
るということをご理解いただきたい。
(吉本委員長) 第2条の項目を受けて対応するという事によろしいか。
(一同「異議なし」の声)
(1) 苫小牧市立学校施設の開放に関する条例及び条例施行規則の
設定に係る意見公募について
(スポーツ生涯学習部長)
・ 苫小牧市立学校施設の開放に関する条例及び条例施行規則の設定に係る意見公募に
ついて説明させていただく。平成23年4月1日から学校開放について有料化すると
いうことを、2年程度検討してきた。この検討結果に基づいて10月8日から11月
6日までパブリックコメントを実施することを予定している。(以降、その他(1)資
料に基づき意見公募の要項について説明)
(吉本委員長) 本件について質問があればお受けする。
(佐藤守委員) 開放校を使っている団体に資料を直接渡した方が、より意見をもらえ
ると思うが。
(スポーツ生涯学習部長) 10月8日に利用者に案内を出し、総合体育館での説明会を予定して



いる。
(吉本委員長) この件は了解してよろしいか。
(一同「異議なし」の声)
(2) 苫小牧市美術館基本構想について
(スポーツ生涯学習部次長)
・苫小牧市美術館基本構想(骨子案)について説明させていただく。4月の定例教育委員会において、苫小牧市美術館の基本的な考えについて説明したところだが、その後、市長選挙で岩倉市長が当選し公約の中で博物館との複合施設として市民美術館を完成するということが謳われ、公約が政策に変わったことを受け、7月に庁内の検討委員会を開設した。総合政策部や財政部等6部の職員による検討委員会を3回ほど開催するとともに、7月24日には市民フォーラムを開催して意見を聞き、9月に基本構想(骨子案)をまとめたので簡単に説明する。(以降、その他(2)資料に基づき構想を説明)
・今後のスケジュールとしては、10月号の広報苫小牧の中にワークショップの募集記事を載せる。公募で選ばれた一般市民の方と検討委員会のメンバーでワークショップを開催しながら、12月を目途に具体的な基本構想を作成したいと考えている。23年度に基本設計・実施設計、24年度に改修工事を行い、25年度のオープンを目指して今後進めていきたいと考えている。
(吉本委員長) 骨格案としての基本構想が提示され、それと付け加えて苫小牧市美術館を実現する会の会長名で添付されている資料もある。こういう形で基本構想に基づいて実現を図っていきたいということだ。特に質問等

がなければ、本件について了解してよろしいか。

(一同「異議なし」の声)

(3) 市民政策提案書の提出について

(学校教育部次長)

・ぱくぱく給食プロジェクトという団体から、市民参加条例に基づいて「苫小牧市新第一学校給食共同調理場の調理部門を民間委託する場合の安全と美味しさの確保のための方策について」という名称での政策提案書が市民自治推進課に提出されている。現在市民自治推進課において提案に関して要件について審査しているところで、最終的には正式に受け付けされることが確実となっている。そうすると、担当課である給食センターが提案書の取り扱いについて検討することになるので、今回は委員のみなさんに情報の提供ということで報告させていただく。提案内容は17項目あり、今後必要に応じて提案者に説明を求めながら検討することになると思う。なお、提案は受け付けをしてから3ヶ月以内に提案者に回答することになっているので、回答内容がまとまり次第事前に教育委員会に諮り回答したいと考えている。

(吉本委員長) 特に質問等がなければ、本件について了解してよろしいか。

(一同「異議なし」の声)

(4) 学校訪問日程について

